NEPAL 2015

第16回　途上国の環境問題を見て考える全国学生ツアー（平成26年度募集）の御案内

ネパール・カトマンズ スタディツアー

発展途上のネパール、カトマンズは、急激な人口増加のため、自噴する地下水に依存している飲料水は数年内に不足するとされています。急速な経済発展に伴い廃棄物の安易な河川敷への投棄等により、廃棄物や水質汚濁による環境劣化も著しい状況にあります。この様に、地下水の資源管理、廃棄物の適正な処理処分、既存環境施設の維持管理等の課題が山積しています。
第16回目を迎える本ツアーでは、カトマンズの環境実態を視察し、問題の抽出と対策を地元の大学生と考え、途上国の環境問題について理解を深めるとともに、国際交流を図ることを目的としています。全国の高等専門学校や大学からの学生や教員の多数が参加することで、教育・研究の情報交換・自己研鑽の場となることが期待されます。また、ヒマラヤ山脈の雄大な景観、多数の世界遺産を訪れ、中世ネパールの文化に触れる企画となっております。

日　程：2015年2月28日（土）～3月7日（土）（8日間）
定　員：20名程度（原則申込み先着順）
対　象：全国の高専生，大学生，大学院生，教職員，研究所員等
参加費：◆交通費（日本・カトマンズ往復：8万～13万円）
◆海外旅行傷害保険（約7,000円）
◆宿泊費（1人部屋：30米ドル×5泊、相部屋18米ドル×5泊）
◆世界遺産入場料・食費代等（約15,000円）
◆現地でのビザ申請料金（3,000円　又は　25米ドル）
※航空券の購入、海外旅行傷害保険の加入は各自行ってください。

日　程	内　容
2月28日(土)	日本発(機内泊及び乗り継ぎ地泊)
3月1日(日)	カトマンズ着 ・集合場所：ホテルタメルロビー ・夕食時に参加者顔合わせ
3月2日(月)	・トリブバン大学工学部教員、及びUNハビタット職員によるネパールとカトマンズの概要説明 ・上下水道処理施設見学 ・世界遺産訪問(パタン、ダルバール広場)
3月3日(火)	・カトマンズ市近郊(キルティプル)の環境実態及び廃棄物処理施設視察 ・世界遺産訪問(ソワヤンブナート) ・参加者による個人研究発表会
3月4日(水)	・環境改善に関するグループワーク ・トリブバン大学工学部にて現地学生と環境改善に関する研究討論会、交流会(夕食会)
3月5日(木)	・ナガーコット訪問(ヒマラヤ山脈展望) ・デュリケルの環境実態視察 ・カトマンズ大学訪問、講義 ・レンガ工場視察、世界遺産訪問(バクタプル、ボダナート)
3月6日(金)	・世界遺産訪問(パシュパティナート寺院) カトマンズ発(機内泊及び乗り継ぎ地泊)
3月7日(土)	日本着

日程・内容は変更となる場合があります。

申し込み要領

●申込締切：2015年 2月7日　(土)

●申込方法
氏名、所属、連絡先（Tel/Fax、E-mailアドレス等）をご記入の上、下記宛てメールもしくはFAXでお申し込みください。

●申し込み先
oshita@epsehost.env.kyoto-u.ac.jp
TEL/FAX　075-383-3336/3338
京都大学　大下和徹

参加条件
◆パスポートの有効期限が半年以上残っていること。
現地でのビザ取得に証明写真1枚（パスポートサイズ）が必要
◆海外旅行に参加するにあたり心身とも健康な状態にあること
◆海外旅行傷害保険へ加入（出国から帰国まで）すること
◆事前の学習と自己紹介・研究紹介の英語版パワーポイントの作成を行っておくこと。（詳細は申込後に連絡）
◆英語の事後報告書の作成を行うこと（3月末までに提出）。（詳細は申込後に連絡）

参加者募集
2015/2/7申込締切

主催：土木学会環境工学委員会・海外環境教育に関する小委員会　共催：九州大学東アジア環境研究機構、トリブバン大学、カトマンズ大学
担当：藤井滋穂（京都大学教授）　大下和徹（京都大学准教授）　島岡隆行（九州大学教授）　中山裕文（九州大学准教授）